

中央大学ビジネススクール創立 10 周年記念シンポジウム第 12 回  
中央大学 X 財務省関東財務局東京財務事務所「東京活性化サロン」共催  
「中小企業ファイナンス講座」第一回（2018 年 3 月 17 日）

## 「中小企業金融の将来を考える」

### 問題提起講演 「中小企業金融の現状と課題」要旨

中央大学大学院戦略経営研究科 教授 杉浦 宣彦

- ・ 中小企業金融の円滑化はこれまで景気の動向に関係なく、常に重要な課題であった。  
わが国の企業の 99%以上が中小企業であり、証券市場からの直接金融が難しく、  
金融機関からの借入の必要性が高い。

(いくつかの政策的取組み)

- 15 年 3 月 リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム
- 17 年 3 月 地域密着型金融の機能強化に関するアクションプログラム (17~18 年度)
- 19 年 8 月 地域密着型金融の推進に関する監督指針の策定
- 21 年 12 月 中小企業金融円滑化法 (二度の延長を経て、25 年 3 月に終了)
- 23 年 5 月 地域密着型金融の推進に関する監督指針の改正
- 25 年 9 月 平成 25 事務年度 金融モニタリング基本方針  
事業性評価にかかるモニタリングの開始
- 28 年 10 月 平成 28 事務年度 金融行政方針 顧客との「共通価値の創造」

- ・ これらの政策の評価
  - 中小企業経営が困難さを増すなか、延命策としては役だった。
  - ビジネスの拡大や収益性の向上につながる資金になっていない。
  - 担保・保証付きの借入の比率は引き続き高い。

- ・ 事業性評価に基づく融資への期待

政策的推進もあり、多くの金融機関で事業性評価に取り組んでいることは事実。

多くの問題点も・・・

事業性評価は金融庁からやれと言われているけれど。評価できたとしても、それをどのように顧客支援に活かしていけばいいのか。

将来債権や知的財産の評価 (基準作り) の難しさ。

中小企業側も事業計画等がうまく作れないところも多い。

金融機関と中小企業の出会いの場、資金ニーズ掘り起しのための対話、マッチングを設定できる仲介者が少ない。 等々